

2019年 年頭のごあいさつ

新年に当たってのごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。

年末から新年のこれまで、予想外の降雪にみまわれ村の方々もさぞかしご苦勞なさっておられることと存じます。

村としましても雪害対策警戒部を設置し生活に支障を来さないよう関係機関と連携して最大の努力をさせてもらっておるところであります。

さて、明けた新年は関心の深い一年になるように感じられます。

天皇陛下の退位と皇太子の天皇即位、新たな元号が制定されます。春には統一地方選挙があり、村議会議員の改選も行われます。夏には参議院議員選挙があり、国、県、村にとってもとても大事な選挙ということにもなります。また、秋には消費税の10%導入が予定されており、これが経済活動にどのような影響を及ぼすのか誠に関心深いところです。

国においては、国政運営上に関わる外交関係、

経済摩擦、景気と経済、防衛、教育、福祉などとともに少子高齢化、人口減少社会に突入している一方で、人口の一極集中が依然として止まらず、地方創生が重要な施策とされているものの、なかなか効果的な施策が進展しておらないのも現実の課題として捉えておかなければなりません。

そうした状況下で、村においては、去年は国直轄事業の成瀬ダムが本格着工しました。

工事の本格的準備としての体制がほぼ整いこの春からは急ピッチで工事が推進される事から、これに関連する産業の生産活動も村内では高まってくるものと思われまますし、期待するところでもあります。この影響は非常に大きく、我が村のみならず周辺地域にも雇用、消費拡大など経済効果は大きいものとなります。

このダム効果は、工事関係者のみならずインフラツーリズムによる交流人口の拡大とダム工事がCSG工法という特殊性もあり見学者や研修もあ